

山口 敏子 議員



同報無線が聞きづらい地域の改善予定はあるか

問

同報無線について尋ねる

【関連記事9・15面】。

(1) 国道1号と155号の重なる地域は、大変聞きづらい。ここは交通量が多く空白地区になると思うが、調査はしているのか。

(2) (1)の地区、国道23号(周辺)の空白地域は、改善する予定があるか。

スピーカーの性能等を考えたい

答 防災安全課長

(1) 交通量の多い所は聞きづらいことは確認している。

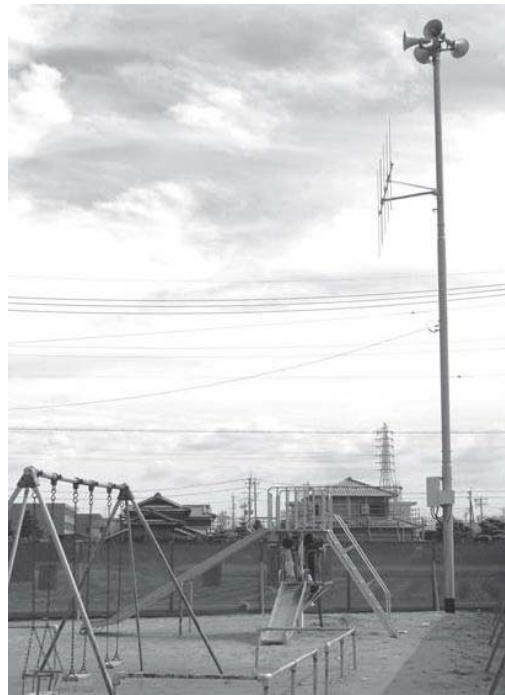
答 市長

(2) しっかり住民に聞いてもらえるよう、スピーカーの性能等も一応考えていかなければならない。

他に所児や児童を対象に、全保育所、全小・中学校にも回収ボックスがある。

(1) 1カ月の回収量

(2) 空き缶、空き瓶と同様に、地域収集ができないか。



▶ 鯛浦町車東地内の同報無線

ペットボトルの地域収集実施を

問

ペットボトルの資源ごみ

回収【】について聞く。



カ所。

一般向けの常設回収拠点は、市役所等公共施設の全9

(3) エコキャップ【】を(集積場回収による)回収ルートに入れてはどうか。



キャップを再資源化する収益で、ワクチン代を発展途上国へ贈る活動。NPO法人エコキャップ推進協会【以下「協会」】

等が取り組んでいる。キャップの売却益は400円円で、800個でポリオ(小児まひ)ワクチン1人分が購入できるといふ。

管理上、拠点回収で対応

答 環境課長

(1) 20年度実績で19・62tである。

(2) 12年6月から拠点回収を実施している。

ペットボトルは容積が大きく、(集積場の)コンテナ容器は瓶、缶よりも数倍必要で、場所によってはスペースが確保できない。

また軽いため、わずかな風で散乱する等管理上の問題から、常時出すことのできる拠点回収で対応しているの、理解してほしい。

市内スーパリーの協力を得た回収も行っているの、それも利用してほしい。

(3) 保育所や小・中学校、市役所の拠点回収で集めた2年間分約33万個を、5月18日に協会へ送っている。

今後、もう少し(拠点回収)容器を置き、どれくらい集まるかを一度考える必要があるかと思っている。